

三次高・藤田教諭 高体連優秀研究

青森市で13、14日に開かれた「第56回全国高校体育連盟研究大会」（読売新聞社共催）で優秀研究に、県立三次高校（三次市）の藤田侑志教諭（29）の研究が選ばれた。

同校レスリング部の顧問を務める藤田教諭は、体幹などが鍛えられるレスリング式のトレーニングを他の



優秀研究に選ばれた藤田教諭
（青森市で）＝吉田朝日香撮影

種目に取り入れて競技力を向上させる研究をしており、バスケットボール部員や柔道部員を対象に行った成果を発表。バスケット部員からは「空中でバランスを崩さなくなった」、柔道部員からは「バランス力や瞬発力がついた」など好評で、得点率などの記録も向上したという。

藤田教諭は「指導者のインターハイとも呼ばれるこの大会で受賞できてうれしい」と喜びを語った。

大会は、部活動の指導者らが成果や課題を共有し、体育やスポーツの振興につながるのが目的。全国から約370人が参加し、13人が研究発表を行った。